

図書名「走れメロス」 著者 太宰治

出版社 筑摩書房

住所 広島県三次市君田町東入君 10361 番地 2

Tel (0824) 53-2008

三次市立君田中学校 第三学年 氏名 加藤 宏和

私は、「走れメロス」を読んで、比喩表現などが多く、そこから登場人物の心情が読み取れることが多かったと思います。

例えば、メロスが親友を助けに王城に向かう途中で疲れ果ててまどろんでしまう場面で、メロスが目を覚ますきっかけとして、「小さくささやきながら清水が湧き出ている。」という文があります。その文には「清水がささやく」という擬人法が使われていると思います。この場面で清水は何をささやいているのだろう。と、考えた結果、メロスに対して励ます思いを込めた何らかの言葉を囁いているという表現であると考えました。作者は、くじけそうなメロスに対しての励ましの思いをこの表現に表しているのではないかと思いました。

私はこの作品を読んで、文の中から人物の心情を読み取ったり、自分で想像したりして読む力が付き、物語をより深く楽しむことができるようになったと思います。